

## 2011年度

科目名	プレゼンテーション							
担当教員	尾川 信之							
配当	人社2		コード	24056				
開期	前期	講時	火曜日4限	単位数 2				
授業テーマ	プレゼンテーションの基本要素であるプレゼンス、シナリオスキル、デリバリースキルを養う。							
目的と概要	<p><b>目的</b>          ビジネスで通用する基本的なプレゼンテーションができるようになる。</p> <p><b>概要</b>          ビジネスを推進していく中で、様々な方々（顧客、取引先、上司、同僚、部下、他部署など）とのコミュニケーションは不可欠です。そのためには、相手に自分の考えを理解していただき（伝えるではありません）、納得していただいて、行動していただくための、プレゼンテーション力が必要になります。プレゼンテーションと言うと、会議での発表の場面を想像されるかも知れませんが、それは一部に過ぎません。上司に報告、連絡、相談するのもプレゼンテーションです。ビジネスの様々な局面でのコミュニケーションは、すべてがプレゼンテーションなのです。ビジネスの世界（国外も含めて）では、このプレゼンテーションに共通の文法があります。この文法を身に付けてコミュニケーションを図ろうとしても、信頼は得られません。プレゼンテーションは座学ではありません。練習を繰り返し、習慣化した思考・行動に落とし込んでいかなければなりません。</p> <p>本授業ではプレゼンテーションに必要な文法を学習し、その文法を使った演習（ロールプレイ）を中心に進めています。全員の前でどんどんプレゼンテーションをしてもらいます。</p>							
成績評価法	第1回期中テスト 20点 第2回期中テスト 30点 期末テスト 50点							
テキスト	配付をします。							
参考書	必要に応じて紹介します。							
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	毎回、全員がプレゼンテーションを行います。場数を踏んで上達してください。							
講義計画								
<b>第1回 イントロダクション（プレゼンテーションとは）</b> (1) ビジネスにおけるプレゼンテーションの意義、(2) 演習：自己紹介をプレゼンテーション								
<b>第2回 ハイコンテキストとローコンテキストのコミュニケーション</b> (1) 分かりやすいプレゼンテーションの必要条件、(2) ハイコンテキストとローコンテキストを認識する								
<b>第3回 プrezentationの基本構成1</b> (1) 基本構成を理解する（アウトライン化）、(2) 聞き手の気持ちを引き込むイントロダクション、(3) 演習：イントロダクション練習								
<b>第4回 プrezentationの基本構成2</b> (1) ボディを理解する、(2) ボディを作成する基本スキル：論理思考、(3) 演習：MECEの活用								
<b>第5回 プrezentationの基本構成3</b> (1) 論理思考：ロジックツリーを理解する、(2) 演習：ロジックツリーの活用								
<b>第6回 第1回期中テスト</b>								
<b>第7回 プrezentationの基本構成4</b> (1) クロノロジカル・メソッドを理解する、(2) 演習：クロノロジカル・メソッドの活用								
<b>第8回 プrezentationの基本構成5</b> (1) スペーシャル・メソッドを理解する、(2) 演習：スペーシャル・メソッドの活用								
<b>第9回 プrezentationの基本構成6</b> (1) コンクルージョン（まとめ）の仕方、(2) アウトライン化のまとめ								
<b>第10回 第2回期中テスト</b>								
<b>第11回 プrezentation時のマナー</b> (1) メラビアンの法則、(2) 服装・姿勢、(3) アイコンタクト、うなずき、身振り、声								
<b>第12～13回 パワーポイントを使用した発表</b> オープンキャンパスでのプレゼンテーションを頼まれる。								
<b>第14回 総合演習</b> (1) 課題に基づき各自がプレゼンテーションを行い、互いにアドバイスをする。								
<b>第15回 まとめ</b>								